２０２７年度　早稲田大学法科大学院
法学未修者試験　論述試験
小論文
（　評価のポイント　）

【評価のポイント】

本出題は、自己決定を過度に強調することで生じる息苦しさや葛藤などについて考察する社会学分野の文章の読解と設問への解答を通じて、受験生の問題解決能力、論理的思考力及び文章表現力について評価するものである。

設問（１）は、課題文中の筆者の主張について、適切な具体例に当てはめつつ説明してもらうことで、課題文の内容を正確に理解できているかを問うており、とりわけ「文章表現力（基礎的な文章読解力と構成力)」を評価する問題である。本設問では、「本文にない具体例を挙げながら」解答を作成することが求められているため、解答に対する評価では、その点についても考慮されている。

設問（２）は、課題文の内容に基づいて説明することを求めており、とりわけ「論理的思考力」を評価する問題である。設問（１）を通じて明確化された「帰結」にも鑑みながら、問題点について的確に述べられていることが期待される。

設問（３）は、問題点に対する対応のあり方を考えさせ、自己の見解を展開させることで、とりわけ「問題解決能力」を評価する問題である。設問（２）で明示した問題点を踏まえて考えられた解決策について説得的に述べられていることが期待される。本設問では、「設問（２）で指摘した問題点」に対応するものとして解答を作成することが求められているため、解答に対する評価では、その点についても考慮されている。

法曹を目指す受験生には、「進取の精神」を涵養していく上でも日頃から幅広い分野の文章に接しつつ、問題解決能力、論理的思考力及び文章表現力を高めていくことが求められる。

以上

Copyright(C) Waseda Law school All Rights Reserved.